

令和 3 年度 事務事業評価表（個票）

課名 社会福祉部・福祉事務所福祉総務課

作成日 令和 4 年 8 月 5 日

概要	施策名	保険年金・生活自立支援		基本目標	健康で福祉が充実したまち								
	施策の目的	社会保障制度の健全で適正な運用により、誰もが生涯にわたり安心して自立した生活を送ることができる環境を整えること。											
	施策の方向	生活困窮者自立支援制度の適正な運用											
令和 3 年度 の評価	■ 計画どおり □ 遅延 □ 進展なし	生活困窮者の有する課題が複雑かつ多様化している中、生活困窮者に対する自立支援策の強化を図るべく、令和3年度より、新たに任意事業である家計改善支援事業を開始した。 生活困窮者に対し、早期的・包括的に自立に向けた支援を行っていくため、市内の関係各機関とネットワークを構築し、情報や支援の連携を図ることを目的に例年開催している生活困窮者自立支援ネットワーク会議については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面開催とした。											
	今後の方向性 (改善措置等)	■ 維持 □ 拡大 □ 縮小 □ 改善	今後、生活困窮者自立支援法の見直し等により、生活困窮者に対する各種支援策が更新または拡充される可能性があるため、国・県の動向を注視しながら、関係各機関との連携を密にし、生活困窮者への支援を強化できる体制をより一層整えていきたい。										
No.	事務事業名	活動内容				コスト（事業費：千円）							
1	生活困窮者自立支援事業	活動指標名	単位	令和 2 年度 実績	令和 3 年度 計画	令和 3 年度 実績	令和 4 年度 計画	令和 2 年度 決算	令和 3 年度 当初予算	令和 3 年度 決算	令和 4 年度 当初予算		
	全体事業概要		①	相談受付件数	件		312	661	312	0	60,795	84,591	73,631
	生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護に至る前の段階の生活困窮者（就労の状況、心身の状況、地域社会との関連性その他の事情により、現に具体的に困窮し最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある人）を対象に支援事業を行い、その自立を促進する。		②	プラン作成件数	件		156	168	156	令和 5 年度の優先度			
			③							□ A	□ B	□ C	□ D
			令和 3 年度 の評価	■ 計画どおり □ 遅延 □ 進展なし	令和3年度の相談受付件数は、前年度に比べると若干減少したものの、コロナ禍以前と比べるといまだに倍近い件数となっている。プラン作成件数については、前年度と同水準となっており、国の示す目安値を上回る結果となった。								
	事業区分	□ 自治事務 □ 法定受託 □ その他		今後の方向性 (改善措置等)	■ 維持 □ 拡大 □ 縮小 □ 改善 □ 休止 □ 終了 □ 廃止	三島市生活支援センターへの相談経路として他機関を経由した相談の割合が最も多いため、引き続き、関係各機関との連携を密にし、三島市生活支援センターの周知も徹底していきたい。							
計画対象	■ 実施計画査定対象 □ 行政改革対象												

※決算額については、端数処理により、他資料の決算額と差異が生じている場合もあります。